

## 経済学研究科（博士後期課程）

### 1. 教育研究上の目的

経済学研究科（博士後期課程）は、高度で深い経済学の専門的知識を持ち、自立して創造的な学術貢献を行いうる研究者を養成する。

### 2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経済学研究科（博士後期課程）では、履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「博士（経済学）」の学位を授与します。

また、2年次終了時点で特に優れた研究業績を上げるとともに、下記の能力を備えていると判断した場合に、「博士（経済学）」の学位を授与します（標準的な修業年限は3年）。

（知識・技能）

1. 経済学における当該専攻分野の研究において先端的で創造的な活動をする能力、及び広い視野を持った高度な学識を身につけている。

（思考・判断・表現）

2. 高度で深い経済学の専門的知識に立脚し、既存知識にはない学術的な貢献を行うとともに、研究課題の設定を行い、科学的な調査・研究を実施し、知的な前進をもたらすことができる。

（関心・意欲・態度）

3. 先端的な学術展開に関心を持ち、自立した専門的研究活動を独自に遂行することができる。

### 3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

経済学研究科（博士後期課程）では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成します。

（教育内容）

1. 経済学における当該専攻分野の研究において先端的で創造的な活動をしていくための高度で深い専門的知識、及び広い視野を持った学識を修得するため、「特論」の科目群を配置する。（知識・技能／思考・判断・表現／関心・意欲・態度）
2. 高度で深い経済学の専門的知識に立脚し、既存知識にはない学術的な貢献を行い、専門性の高い博士論文を仕上げるようになるため、「特殊研究」の科目群及

び「演習」の科目群を配置する。(知識・技能／思考・判断・表現／関心・意欲・態度)

3. 自立した専門的研究活動を行い、博士論文を構成する個々の論文の外部発表を奨励し、査読経験を積むための研究指導を行う。(思考・判断・表現／関心・意欲・態度)

(教育方法)

1. 講義科目では、高度で深い専門的知識を修得させることを目的とした講義方法を採用する。
2. 演習科目では、既存の学術水準を超える知的貢献を行うための研究課題の設定及び研究方法を修得させるため、アクティブ・ラーニングを取り入れた演習方法を採用する。
3. 指導教員が、副査の教員との連携のもとで、きめ細かな研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。また、「研究計画書」の作成や博士論文の「論文報告会」での発表を通じて、専門的研究活動の遂行と、先端的で創造的な成果をとりまとめるための計画的な研究への取り組みを促す。

(教育評価)

1. 講義科目及び演習科目において、論理的かつ科学的な研究課題の設定を行い、厳密な分析を行うとともに、十分に根拠づけられた議論を自立的かつ総合的に構築する能力を判断する。
2. 博士論文に至る個別論文の外部報告や査読過程等を通じて、既存の学術水準に対する実質的な貢献を自立的に行っているか、評価を行う。
3. 講義科目及び演習科目で身につけた基礎的な知識及び技能を基にした総合的な研究能力に関しては、博士論文による研究成果の審査を通じて評価する。なお、その審査にあたっては、別に定める審査基準に基づいて、総合的に判断する。

#### 4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学研究科（博士後期課程）では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 博士前期課程又はそれに相当する課程において、経済学に関する専門的知識及び研究手法を身につけている。

(思考・判断・表現)

2. 学術的に意義のある研究課題を設定し、当該分野の専門知識を応用し、かつ厳密な分析に基づいて、研究論文を作成できる。

(関心・意欲・態度)

3. 明確な研究計画を持ち、その計画を実現するための専門的知識・資料収集能力・分析能力を備え、かつそのための強い意欲を持っている。

以 上